



おやこばと

〒541-0053 大阪市中央区本町4-4-6-202
新日本婦人の会中央支部
 TEL06-6245-0781 FAX06-6245-0838
 E-mail sf-chuo@rose.plala.or.jp
No. 1293
 ★ご意見・感想・記事などおまちしています

私たちの街、中央区にも 原発ゼロの会が誕生!

今年三月の震災がなければ私は、ずっと日本の原子力発電の怖さを知らされないで、安全神話に騙され呑気に暮らしていただろうと思います。三月十一日以降連日流されるテレビの映像を眺め、そして多くの学者や専門家の書物を読む中で「原発ゼロの日本」をめざすたかいは、日本社会の姿かたちを変えるたかいであり、日本の政治を大本から正すたかいだという言葉が私をつかんで離れませんでした。自分が歩き求めてきたその道だつたからです。「中央区原発ゼロをめざす会」が産まれて4ヶ月。会は、やつとヨチヨチ歩きだしました。(モンキー班 Y)

それは 7月のパレードから 始まった

会の始まりは七月の中央区玉造地域から銅座公園までのパレードでした。この界隈の住民が、手に手に風車や風船・ひまわりを持ち、アピールしたのです。

講演会です

九月には、「原発ゼロへ自然エネルギーへの転換は可能か」と題して池内了さん(宇宙物理学者)の講演



会を一一〇人の参加で開催しました。先生の講演は「『核』は人類と共存できる

のか」から始まり、福島原発事故による放射能の放出による被ばくの被害、そして脱原発の為に私たちはどうすべきかまでわかり易い講演をして頂きました。



たくさん飛び入り参加

二回目は暗くても目立つようにと、ピカピカの光り物を身につけ谷町地域から出発しました。お誘いチラシを受け取る人たちから、「頑張ってください!」「こんな危ないものすぐ止めてもらわなあ!」などの声があり、原発ゼロは住民の願いだと元気ができました。

「頑張ってください!」

腹話術『愛ちゃん』の開

会宣言で始まり、可愛い双子ちゃんをバギーに乗せた若いママは、「子どもたちが安心して暮らすよう原発は無くしたい」と語ってくれ、チラシをみたコードピンクの活動家の方は「原発ゼロの運動を世界に届けたい!」と飛び入り参加。買い物袋を提げた方がこれまた飛び入りで、「私は茨城県で被災に合い親戚のいる大阪に逃

げてきました。後ろめたい思いもありますが、大阪でこんな集会をされている事に感動しました」と声を詰まらせて訴えられました。出発までに感動的な出来事です。短いコースでしたが、店から出てきて手を振る人や立ち止り見ていく人など「原発はあかん」の願いの大きさを実感。この日の参加者は六〇人余りでした。

もっと・もっと 大々大



呼びかけ人のFさん一人から出発した会も世話人メンバーは二〇才代から七〇才代まで九人になりました。「原発ゼロの日本」になるまで創意工夫して楽しく、誰でも参加できる会をめざしています。

先日は、南大江公園から北大江公園へ。プラカード、クリスマス風の被り物やジョン・レノンの「ハッピークリスマス」の曲を流しての明るいパレードでした。気軽に飛び入り参加できるいわゆる街角パレードをこれからも中央区の隅々で開催していきたいものです。

あした 天気になあれ



おやこばとも年内最終版。今年も走り続けた一年でした▼「新春のつどい」でフランスの社会保障事情を学習し、日本もヨーロッパ並みに近づこうと希望をもった矢先に、未曾有の大震災と原発事故。多くのかけがえのない命が奪われました。今も不自由な生活を余儀なくされている方々には息の長い支援が必要です。又、安全神話に騙されていたが故の原発事故と放射能汚染もゼロにして行かなくては▼先日の市長・知事選の結果は残念でしたが「橋下・維新の会の横暴を許さない」と多くの人たちが手を繋いでの運動でした。▼職員を命令・脅かしで取り仕切ろうとする「職員基本条例」、一部のエリートとそれに従う人間づくり目的の「教育基本条例」。悪法二法を許さない運動は子どもたちの未来にかかわります▼「沖繩に基地はいらない」も広げていきたい。来年も「おやこばと」を宜しく。

(N)